

「親を知る」

■エピソード

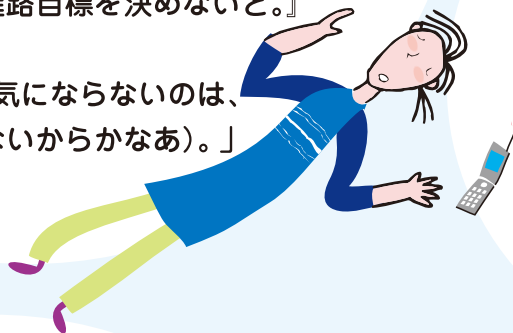
1

由紀さんは高校一年生。毎日夜遅くまでがんばって勉強し、第一志望の高校に合格して半年がたちました。

親は、中学時代に一生懸命がんばったんだから、高校一年生の間ぐらひはゆっくりとすればいいと思っているようで、余りうるさく文句も言わず、大人として扱ってくれているのですが…。

由紀：「毎日うっとおしいなあー。」

やっと高校に合格したと思ったら、先生からは『高校卒業したらどうするのか、一年生のうちに進路目標を決めないと。』と言われるし…。
(けれど勉強する気にならないのは、やっぱり目標がないからかなあ。)」



2

一学期の成績も思ったほどにはよくなくて、気持ちを切り替えよう！と思っていた夏休みも、けっきょく家でごろごろ寝てばかり。

中学時代に仲のよかったマリさんと携帯電話でメールのやりとりをしたり、映画やカラオケに行ったりして時間を過ごしています。

そんなある日、由紀さんは偶然クラスメートのマコト君と出会いました。

マコト君がカラオケに行こうと誘ってくれたので、由紀さんはすぐにOKしました。

二人で歌っていると、あっという間に由紀さんの門限になってしまいました。もっと歌いたい、もう少し一緒にいたいと由紀さんは思いました。



3

由紀：「もしもし、お母さん。
今、同級生のマコト君と一緒にの。
カラオケボックスで歌ってるんやけど、
すごく盛りあがって楽しいし帰りたくないのよ。
大丈夫だから…お願い。
お母さん…。」

4

母：「うーん。
わかったわ。
それで、
何時に帰るの？」

由紀：「何時になるかわからない。
朝までには絶対帰るよ。
もっと歌って
いたいよ。」

母：「えっ！」



由紀さんのひとりごと…

- 男の子と一緒にいるからって心配するのは分かるけど、一晩中歌うだけだからわたしを信じて欲しい。たまにはハメをはずしたいのよね。



母親の順子さんのひとりごと…

- 中学時代は、クラブも勉強もがんばったし、少しぐらい息抜きをさせてもいいと思うけど、男の子と二人だけにいるのは不安だわ。信じているという態度を見せておくのも必要だとは思うけど…。
困った！

グループワーク

1 グループに分かれて話しあってみましょう。

- ① あなたの親がどのような反応をすると思いますか？
- ② あなたなら親にどのように反応してほしいですか？

2 「親の役割」とは何か、考えてみましょう。たとえば、もしあなたが、親に何かを求めるとしたら、それはどのような「条件」でしょうか？ (次のワークシートに書きこんでみましょう)

3 ワークシートに記入した「条件」をもとに、「親」には何が必要なのか？優先順位は？最低限必要なものは？などを話しあってみましょう。

4 ほかの人の意見を聞いて、もう一度話しあってみましょう。

- ① 自分の親のことを振り返ってみてどう思いましたか？
- ② 自分が親になるとしたらどんな親になりたいですか？